

都市再生整備計画(第1回変更)

いわじゆく い せき しゅうへん ち く
岩宿遺跡周辺地区

ぐんまけん し きゅうかさかけまち
群馬県 みどり市 (旧笠懸町)

平成19年11月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	群馬県	市町村名	みどり市(旧笠懸町)	地区名	岩宿遺跡周辺地区	面積	138 ha
計画期間	平成 18 年度 ~ 平成 21 年度	交付期間	平成 18 年度 ~ 平成 21 年度				

目標 メインテーマ:歴史的資源の有効活用によるにぎわいの創出と安全で快適な環境の整備 目標1:岩宿遺跡を中心とする歴史的資源を有効活用し、岩宿時代をトータルで体感できるような体制づくりを行う 目標2:遺跡来訪者はもとより、そこで暮らす人達にも良好な環境の整備を図る
--

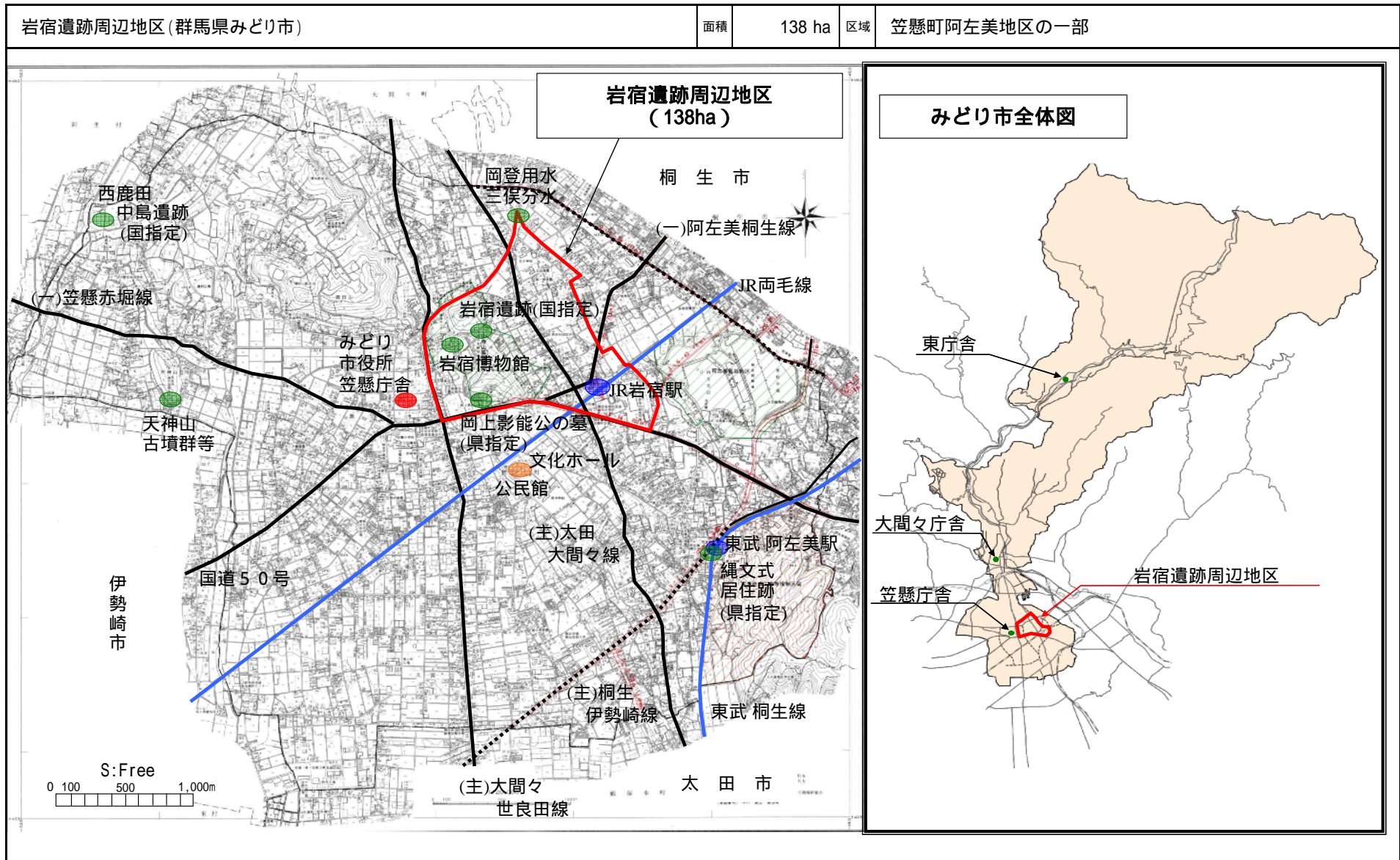
目標設定の根拠 まちづくりの経緯及び現況 本地域は、当市が世界に誇れる岩宿遺跡を有し、国道50号をはじめとした主要幹線道路が交差する交通の結節点で、JR岩宿駅という市の玄関口も位置した中心地域である。旧笠懸町内には岩宿遺跡をはじめとする多くの史跡や文化財・天然記念物等が、それぞれ個別の有用性を持ち点在しているが、これらを連携させるような取り組みに繋がっておらず、また、岩宿遺跡等に関連した体験学習やイベント等も、年間を通して活発に展開されているが、その拠点となる施設がなく、現在は市有施設(岩宿博物館)を代用しているような状況にある。また、岩宿遺跡の近くには、市のイベント等で利用している市有の施設があるが、現在の利用率は少なく、通年で利用するような有効施策を模索してきた。更に、これに併設するような形で民間の博物館も存在していたが、この施設の閉館と共に、これら施設の一体的な有効利用が求められている。また、JR岩宿駅周辺では、交通の要所故の交通渋滞という課題から、岩宿遺跡或いは市南部との連携に課題を持っている。更に、平成17年度末には市町村合併が施行され、新市の一体性或いは、岩宿駅へのアクセス性向上も課題となっている。
課題 課題1:旧笠懸町内に点在する史跡、文化財等の有用性は高いが、それぞれを関連づけた施策には繋がっておらず、特に岩宿遺跡に関連した文化活動は活発に展開されているが、それぞれを体系付けた(器具作成・田植え・収穫等)体験学習に繋がっていない。更に体験学習等を展開する上での拠点となる施設がない。 課題2:JR岩宿駅周辺の交通渋滞に伴い、駅の利便性が悪く、来訪者或いは地域住民の交通安全性にも欠ける。
将来ビジョン(中長期) 旧笠懸町第3次総合計画では、岩宿遺跡をはじめとする多くの史跡、文化財、天然記念物等を有効活用し、豊かな地域文化の創造と、いきいきとした元気なまちづくり、人づくりを目標に掲げている。このため、岩宿時代の衣食住まるごとを体験できる環境を整備し、出会いと交流・歴史体験から、地域を知り、愛着と関心を持つことで持続的なまちづくりを目指す。

目標を定量化する指標								
指標	単位	定義	目標と指標及び目標値の関連性		従前値		目標値	
						基準年度		目標年度
1.岩宿遺跡周辺来訪者数	人/年	(仮称)岩宿ふれあいセンターの利用者数	既存施設を改修し、体験学習の拠点として有効活用することで、個別に展開されていた事業等を集約・体系化し、利用者の増加を見込む。	500	平成16年度	3000	平成21年度	
	人/年	古代米栽培への参加者数	遺跡愛好家らで進められてきた古代米栽培の作付け面積を拡大し参加者の増加を見込む。	80	平成16年度	160	平成21年度	
2.岩宿駅南口利用割合	%	通勤時間帯における岩宿駅南口利用割合	市道笠懸2280号線及び国道の整備により、駅南口の利用者が増加し、市南部との連携や北口に集中していた交通の分散等に効果を上げる。	6	平成17年度	30	平成21年度	

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>1) 体験学習等の体系化とその拠点づくりとして岩宿遺跡周辺を次のとおり整備する。 既存市有施設を体験学習の拠点として改修する。 体験学習事業等の充実のため水生公園及び古代米水田等を整備する。 地域文化等の伝承とにぎわいづくりのため既存民間施設を買収及び改修する。 岩宿博物館(旧岩宿文化資料館)の駐車場用地を買収する。 旧笠懸町内の史跡や文化財等をめぐるための案内板を設置する。</p>	<p>既存建造物活用事業(基幹事業 / (仮称)岩宿ふれあいセンターの整備) 地域創造支援事業(提案事業 / 水生公園・古代米水田等の整備) 地域創造支援事業(提案事業 / (仮称)ふるさと伝承館の整備) 地域生活基盤施設(基幹事業 / 岩宿博物館(旧岩宿文化資料館)駐車場用地の取得) 地域生活基盤施設(基幹事業 / 史跡めぐり案内板の設置)</p>
<p>2) 来訪者あるいは地域住民の駅利用における利便性向上と安全性確保のため次のとおり整備する。 市道笠懸2280号線の拡幅整備及び国道50号に交差点新設整備</p>	<p>道路事業(基幹事業 / 市道笠懸2280号線)</p>
<p>その他</p>	
<p>現在、岩宿遺跡に関連した体験学習として「石器づくり」や「古代米の栽培」などが、遺跡の愛好家等で作られた団体を中心に活発に展開されている。このため、計画の遂行に当たっても、これら団体や参加者等の声も汲み取りながら、みどり市らしさを強調出来るような取り組みに繋げていきたいと考えている。</p>	

都市再生整備計画の区域



岩宿遺跡周辺地区(群馬県みどり市)整備方針概要図

目標	歴史的資源の有効活用によるにぎわいの創出と安全で快適な環境の整備	代表的な指標	(仮称)岩宿ふれあいセンターの利用者数(人/年)	500	(H16年度)	3000	(H21年度)
			古代米栽培への参加者数(人/年)	80	(H16年度)	160	(H21年度)
			駅南口利用割合(%)	6	(H17年度)	30	(H21年度)

